

## 兵庫県西宮市でヤシオオオサゾウムシが発見される

川崎菜穂子・川崎安寿

兵庫県西宮市学文殿町の某小学校内にある学童保育の育成センターに持ち込まれた昆虫にまつわる騒動記です。

2017年11月7日放課後、育成センターへ通ってくる小学1年生の男子児童が、「先生この虫なに？」と虫を手を持ちやってきました。小ぶりのクワガタムシのようなサイズ、尖った鼻(?)、鮮やかなオレンジ色に不思議な模様。図鑑(NEO)にも載っていません。形はゾウムシ(?)。でもこんな大きなのはいないはず…。集まってきた子どもたちの中には「俺、虫に詳しいねん!きつとこれはゾウムシモドキや!」なんて言う子も…。

家に持ち帰り調べたところ、ヤシオオオサゾウムシと判明。外来種とのこと。翌日センターの飼育ケースに入れて昆虫ゼリーを与え、展示することにしました。「日本にはあまり住んでいない、南の国から来た虫です。

〇〇くんが見つけたよ。」とみんなに紹介すると、一躍〇〇くんはヒーローです。子どもたちにはとてもカッコいい虫のようで、「僕も欲しい!」「どこにいるの?」と〇〇くんが見つけた場所が人気スポットになり、翌日別の子が2匹目を見つけました。その後も子どもたちは探したようですが、見つからず、20日後の11月27日、ブームが過ぎ去ろうかという頃に再び3匹目が見つかりました。偶然かもしれませんが、見つかった日はいずれもこの時期にしては暖かいと感じた日だったように思います。

見つけた子は自分だけのものにして、家に持ち帰りたいと言っていました。「この虫はね、西宮にはもともといない虫なの。外へ飛んで行ってこの虫が増えたらみんなが大切にしているヤシの木が枯れてしまうかもしれないよ。」と精一杯の説明をして、センターの飼育ケースの中だけで飼うことに納得してもらいました。夜になると寒くなるのでセンターを出るときに携帯カイロをタオルに包んでケースを温めています。3匹中2匹は元気ですが、最初に見つかった1匹はそもそもけがをしていたので1週間後に死んでしまいました。

### 【本種の解説】

本種は東南アジアに分布するが、国内で最初に確認されていたのは大東諸島で初記録年代は不明。沖縄島での初記録は1975年。また本土での初記録は1998年の宮崎県日南市で、兵庫県では淡路島のみで記録されているが、兵庫県の本州側では初記録と思われる。今回発見された3個体はいずれも校内のカナリーヤシ(フェニックス)の木から数m離れた地面で見つかった。

後日、このヤシの木2本のうち、1本が枯れていることから川崎菜穂子が学校へ報告。その後、学校からの連絡を受けた西宮市環境学習都市推進課の方が植物防疫

所に届けるため、死んだ個体を持ち帰った。

### ○参考文献

国立環境研究所 侵入生物データベース ヤシオオオサゾウムシ <http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60510.html>

(Naoko KAWASAKI 兵庫県西宮市)

(Anju KAWASAKI 兵庫県立大学環境人間学部)



図1 昆虫ゼリーで飼育中のヤシオオオサゾウムシ。

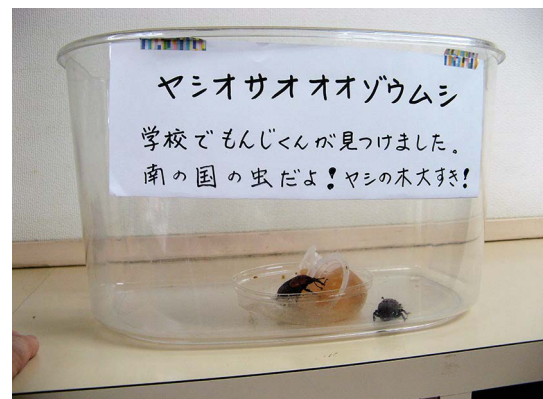


図2 育成センターにて飼育している様子。



図3 校内に植栽されているカナリーヤシ(フェニックス)の木。